

# 2019（平成 31/令和 1）年度事業報告

## 1. 学術集会、講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

### (1) 年会の開催

第 92 回 日本薬理学会年会 年会長：金井 好克（大阪大学・院医）

2019 年 3 月 14 日～16 日 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

『創造と協奏～薬理学の新たな地平を拓く

～Concerto on science and innovation toward new horizon of pharmacology』

### (2) 地方部会

第 135 回日本薬理学会近畿部会 部会長：原 英彰（岐阜薬科大学・薬）

2019 年 6 月 21 日 じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流プラザ）

参加者 191 名、一般演題（口演 75）

第 140 回日本薬理学会関東部会 部会長：亀井 淳三（星薬科大学・薬）

2019 年 7 月 6 日 星薬科大学新星館および百年記念館（東京都品川区）

参加者 274 名、一般演題（口演 62）

第 70 回 日本薬理学会北部会 部会長：南 雅文（北海道大学・院薬）

2019 年 9 月 20 日 北海道大学薬学部（北海道札幌市）

参加者 136 名、一般演題（口演 54）

第 141 回日本薬理学会関東部会 部会長：杉山 篤（東邦大学・医）

誌上開催、一般演題（51 題）

第 72 回日本薬理学会西南部会 部会長：山本 秀幸（琉球大学・院医）

2019 年 11 月 16 日 沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市）

参加者 151 名、一般演題（口演 37、ポスター 30）

第 136 回日本薬理学会近畿部会 部会長：荻田喜代一（摂南大学・薬）

2019 年 11 月 23 日 摂南大学枚方キャンパス（大阪府枚方市）

参加者 217 名、一般演題（口演 60）

### (3) 公開講座の開催

・公開講座（第 92 回年会） 2019 年 3 月 16 日 大阪国際会議場 12 階特別会議室、参加者 73 名

『生活習慣病とくすり』 演者：安西 尚彦（千葉大学・院医）、西山 成（香川大学・医）

・公開講座（第 141 回関東部会） 台風接近のため中止

『東京オリパラで問題となる感染症－知っておかなければいけない基礎知識－』

・公開講座（第 72 回西南部会） 2019 年 11 月 17 日 沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市）

『なかなか聞けない大事な話～排尿の悩みの解決法～』 責任者：山本 秀幸（琉球大学・院医）、参加者 68 名

### (4) 次世代薬理学セミナーの開催

・次世代薬理学セミナー（第 140 回関東部会） 2019 年 7 月 6 日 星薬科大学

『細胞ごとに切り込む最先端脳研究』

・次世代薬理学セミナー（第 72 回西南部会） 2019 年 11 月 16 日 沖縄県市町村自治会館

『異分野研究による神経薬理学のパラダイム・シフト』

### (5) 看護薬理学カンファレンスの開催

・看護薬理学カンファレンス in 大阪（第 92 回日本薬理学会年会開催時）

2019 年 3 月 16 日 大阪国際会議場（大阪市）

大会長：池谷 裕二（東京大学・院薬）

・看護薬理学カンファレンス in 札幌（第 70 回日本薬理学会北部会開催時）

2019 年 9 月 21 日 北海道大学医学部臨床大講堂（北海道札幌市）

大会長：吉岡 充弘（北海道大学・院医）

#### (6) 他学会等との共催学術集会の開催

- ・日本毒性学会共催シンポジウム 2019年3月14日（第92回年会会期中），大阪国際会議場  
『神経毒性研究の新展開：神経障害の発症メカニズムと評価法の先端研究』  
座長：大野 行弘（大阪薬科大学・薬），山田 久陽（大正製薬㈱）
- ・日本組織細胞化学会共催シンポジウム 2019年3月14日（第92回年会会期中），大阪国際会議場  
『薬理学研究に使える形態学的手法の基礎』  
座長：齋藤 尚亮（神戸大学・バイオシグナル研），小澤 一史（日本医科大学）
- ・日本医学会連合加盟学会連携フォーラム  
日本リウマチ学会共催シンポジウム 2019年3月15日（第92回年会会期中），大阪国際会議場  
『免疫薬理学－免疫疾患への革新的な治療法開発と薬理学の新たな役割』  
座長：石井 優（大阪大学・院医），今井由美子（医薬基盤研）
- ・日本臨床薬理学会共催シンポジウム 2019年3月16日（第92回年会会期中），大阪国際会議場  
『基礎・臨床研究連携のフロンティア』  
座長：松本 直樹（聖マリアンナ医科大学），木内 祐二（昭和大学・医）
- ・日本臨床薬理学会共催シンポジウム 2019年12月6日（第40回日本臨床薬理学会学術総会時），京王プラザホテル  
『臓器間ネットワーク制御：異種細胞組織構築モデルから病態生理へ』  
オーガナイザー：安西 尚彦（千葉大学・院医），楠原 洋之（東京大学・院薬）

#### (7) 内外の関連学術団体との連携及び協力

- ・第22回日韓薬理学合同セミナー 2019年3月16日（第92回年会会期中），大阪国際会議場
- ・第7回日中薬理学・臨床薬理学シンポジウム 2019年8月4日，5日，中国昆明市。日本から accompanying persons を含む35名が参加した。  
日本薬理学会提案シンポジウム “Neuropharmacology on Cognitive Function”  
座長：池谷 裕二先生（東京大学薬学部），演者：古屋敷智之先生（神戸大学・医）  
演者：野村 洋先生（北海道大学・薬）
- 日本臨床薬理学会提案シンポジウム “Recent trend in pharmacogenomics”  
座長：古田 隆久先生（浜松医科大学），演者：蓮田 泰誠先生（理化学研究所）  
演者：古郡 規雄先生（獨協医科大学・医）
- ・ASCEPT年会（2019年11月25日～29日，Queenstown, New Zealand）に講師として池谷 裕二教授（東京大学・薬）を派遣した。

## 2. 学会誌等刊行物の刊行（定款第4条第2号）

#### (1) Journal of Pharmacological Sciences の刊行

発行巻号 139巻1～4号, 140巻1～4号, 141巻1～4号

掲載頁数 (篇数)

① Review	55 頁	( 8)
② Full Paper	721 頁	( 97)
③ Short Communication	111 頁	( 27)
合計	887 頁	(132)

#### (2) 日本薬理学雑誌（くすりとからだ／ファーマコロジカ）の刊行

発行巻号（部数） 153巻1号(3,850部), 153巻2号(3,900部), 153巻3号(3,800部),  
153巻4号(3,000部), 153巻5号(3,500部), 153巻6号(3,350部),  
154巻1号(3,400部), 154巻2号(3,450部), 154巻3号(3,450部),  
154巻4号(3,550部), 154巻5号(3,700部), 154巻6号(3,800部)

掲載頁数 (篇数)

① 特集序文	16 頁	(15)
② 特集および総説	395 頁	(70)
③ 実験技術	0 頁	( 0)
④ 創薬シリーズ	88 頁	(14)
⑤ 新薬紹介総説	97 頁	(10)
⑥ キーワード解説	0 頁	( 0)
⑦ 最近の話題	10 頁	(10)
⑧ サイエンス/リレーエッセイ	10 頁	(10)
⑨ 学会便り/研究室訪問	11 頁	(11)
⑩ アゴラ	24 頁	(12)
⑪ 広告	82 頁	
⑫ 綴込み、目次等上記以外の頁	175 頁	
合計	908 頁	(152)

### 3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第3号）

#### (1) 第12回日本薬理学会江橋節郎賞授賞

石井 優（大阪大学大学院医学系研究科・教授）

#### 第13回日本薬理学会江橋節郎賞決定

尾藤 晴彦（東京大学大学院医学系研究科・教授）

#### (2) 第34回日本薬理学会学術奨励賞授賞（所属等の標記は授賞時）

村松里衣子（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所・部長）

『脳神経回路の傷害と修復を司る生体システムの解明』

山下 直也（順天堂大学医学部 薬理学講座・助教）

『軸索輸送を介した神経細胞内情報伝搬・その破綻による神経変性疾患発症の分子機構』

#### 第35回日本薬理学会学術奨励賞決定

北岡 志保（神戸大学 大学院医学研究科・講師）

『精神・神経変性疾患の病態形成に関する脳内炎症および疾患モデル細胞を用いた創薬に関する研究』

出山 諭司（金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室・助教）

『レゾルビン類の抗うつ作用の機序解明と創薬応用に向けた薬理学的研究』

中村 達朗（東京大学 大学院農学生命科学研究科・特任助教）

『食物アレルギーにおける PGD<sub>2</sub> の役割解明と治療、診断への応用』

#### (3) 第24回 Journal of Pharmacological Sciences 優秀論文賞決定（掲載順）

Characterization and comparison of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors in pharmacokinetics, pharmacodynamics, and pharmacologic effects

Atsuo Tahara, Toshiyuki Takasu, Masanori Yokono, Masakazu Imamura, Eiji Kuroasaki

Drug Discovery Research, Astellas Pharma Inc., Ibaraki, Japan

Vol. 130, No. 3 pp. 159–169 (2016)

Rosmarinic acid inhibits inflammation and angiogenesis of hepatocellular carcinoma by suppression of NF-κB signaling in H22 tumor-bearing mice

Wen Cao, Chao Hu, Lingling Wu, Liba Xu, Weizhe Jiang

Vol. 132, No. 2 pp. 131–137 (2016)

#### (4) 第92回年会優秀発表賞（五十音順・14名）

相本 恵美（東邦大学・薬・薬物治療）

大庭 卓也（岐阜薬科大学・薬・薬効解析）

高 尚澤（岡山大学・院医歯薬総合・薬理）

古賀 啓祐（九州大学・院薬・ライフイノベーション）

小島 寛人（東京大学・院薬・薬品作用）

小柳 円花（京都大学・病院・薬剤部）

清水 翔吾（高知大学・医・薬理）

高橋恵理矢（筑波大学・国際統合睡眠医科学）

Palikhe Sainesh（富山大学・院医薬・分子医科薬理学）

松澤 拓郎（東北大学・院医・機能薬理）

松本浩太朗（大阪大学・院薬・臨床薬効解析学）

道永昌太郎（大阪大谷大学・薬・薬理）

三原 大輝（東京大学・院農・獣医薬理）

宮部 淳二（大阪大学・院医・生体システム薬理）

#### (5) 2019年度 JPS 優秀査読者賞

· Juei-Tang Cheng (Chang Jung Christian University)

· Yuichi Hattori (University of Toyama)

· Katsuya Hirano (Kagawa University)

· Tsuyoshi Shuto (Kumamoto University)

· Kazuhiro Takuma (Osaka University)

#### 4. 薬理学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・薬理学エデュケーターが薬理学実習や薬理学講義のテキストを共有するためのシステム及びルールの構築を検討した。

#### 5. 内外の関連学術団体との連携及び協力（定款第4条第5号）

(1) 学術集会の共催および連携 上記1.の(6), (7) を参照

(2) 学術集会の協賛・後援 （平成31年総会から令和2年総会前日まで）

##### 後 援

1) 第9回アジア-オセアニア生理学会連合大会「FAOPS2019」	平成31年3月28日～3月31日
2) 第14回日本分子イメージング学会総会・学術集会	令和1年5月23日,24日
3) 日本ケミカルバイオロジー学会第14回年会	6月10日～12日
4) 第4回日本臨床薬理学会九州・沖縄地方会	7月6日
5) 医療薬学フォーラム2019第27回クリニカルファーマシーシンポジウム	7月13日,14日
6) 生体機能と創薬シンポジウム2019	8月29日,30日
7) 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2019	8月31日
8) 第67回脳の医学・生物学研究会	8月31日
9) 創薬薬理フォーラム第27回シンポジウム	9月13日
10) 第21回応用薬理シンポジウム2018	9月20日,21日
11) 第6回アジア神経精神薬理学会大会（AsCNP2019）/第49回日本神経精神薬理学会（JSNP2019）/第29回日本臨床精神神経薬理学会（JSCNP2019）	10月11日～13日
12) The 9th International DAMPs & Aalarmins Symposium: iDEAs (第9回国際DAMPsとAalarminsシンポジウム)	11月6日～8日
13) 第4回黒潮カンファレンス	11月15日
14) 第11回トランスポーター研究会九州部会	11月23日
15) 第9回ポリフェノールと健康国際会議（ICPH2019）	11月28日～12月1日
16) 第29回日本循環薬理学会・第55回高血圧関連疾患モデル学会合同学会	11月29日,30日
17) 第40回日本臨床薬理学会学術総会	12月4日～6日
18) 第7回国際フードファクター会議（ICoFF2019），第12回国際機能食品学会（ISNFF2019）	12月1日～5日
19) 日本薬物動態学会第34回年会	12月9日～12日
20) 第10回武田科学振興財団薬科学シンポジウム	令和2年1月24日,25日
21) 第68回脳の医学・生物学研究会	2月1日
22) 第1回がん治療関連心血管疾患ワークショップ	2月11日
23) 第29回神経行動薬理若手研究者の集い	3月15日

##### 協 賛

1) 第26回HAB研究機構学術年会	令和1年6月20日,21日
2) 第23回活性アミンに関するワークショップ	8月24日
3) 第6回国際亜鉛生物学会学術集会（ISZB-2019）	9月9日～13日
4) 第4回D-アミノ酸国際学会（The 4th International Conference of D-Amino Acid Research (IDAR2019)）	9月10日～13日
5) 第28回バイオイメージング学会学術集会 /第6回国際バイオイメージングプログラム	9月21～23日
6) CBI学会2019年大会	10月22日～24日
7) Symposiumu:Novel Pain Therapeutics:From Basic Research to Clinical Translation and Rehabilitation	10月23日～25日

6. 会議等の開催状況（平成 31 年総会から令和 2 年総会前まで）

総 会	平成 31 年度 通常総会	平成 31 年 3 月 14 日	(大阪)
学術評議員会	平成 31 年度	平成 31 年 3 月 14 日	(大阪)
理 事 会	令和 1 年度 第 3 回 第 4 回	令和 1 年 7 月 5 日 12 月 3 日	(東京) (東京)
(拡大) 常務理事会	令和 2 年度 第 1 回 第 2 回	令和 2 年 2 月 3 月 15 日	(書面決議) (横浜)
	令和 1 年度 第 2 回 第 3 回	7 月 5 日 12 月 3 日	(東京) (東京)
	令和 2 年度 第 1 回	令和 2 年 3 月 15 日	(横浜)
総務委員会	令和 1 年度 第 1 回 (メール会議)	令和 1 年 11 月 11 日	(東京)
財務委員会	令和 1 年度 第 1 回 予算案検討ワーキング (メール会議)	令和 1 年 11 月 26 日 11 月 26 日	(東京) (東京)
	会 計 監 査	令和 2 年 1 月 10 日 24 日, 27 日	(東京) (東京)
	監 事 監 査	2 月 14 日	(東京)
編集委員会	平成 31 年度 第 1 回	平成 31 年 3 月 14 日	(大阪)
研究推進委員会	平成 31 年度 第 1 回 令和 1 年度 第 2 回	平成 31 年 3 月 14 日 令和 1 年 10 月 26 日	(大阪) (東京)
広報委員会	平成 31 年度 第 1 回	平成 31 年 3 月 16 日	(大阪)
企画教育委員会	令和 1 年度 第 2 回 令和 2 年度 第 1 回	令和 1 年 9 月 2 日 令和 2 年 1 月 27 日	(東京) (東京)
次世代の会	平成 31 年度 第 1 回	平成 31 年 3 月 15 日	(大阪)
賞等選考委員会	令和 1 年度 第 1 回	令和 1 年 10 月 30 日	(東京)
年会学術企画委員会	平成 31 年度 第 1 回 令和 1 年度 第 2 回	平成 31 年 3 月 14 日 令和 1 年 7 月 20 日	(大阪) (東京)
江橋賞選考委員会	令和 1 年度 第 1 回	令和 1 年 11 月 8 日	(東京)
国際対応委員会	平成 31 年度 第 1 回	平成 31 年 3 月 15 日	(大阪)
利益相反(COI)委員会	令和 1 年度 第 1 回	令和 1 年 11 月 11 日	(東京)

7. 会員状況（令和 1 年 12 月 31 日現在）

会員数および異動状況（下段は前年度との差）

代 議 員 (正会員に含む)	名 誉 会 員	永 年 会 員	正 会 員		総 数
			学術評議員	一般会員	
1 3 7	1 2 0	9 7	1 , 2 6 1	2 , 6 7 0	4 , 1 4 8
- 3	± 0	+ 7	+ 4	- 1 6 1	- 1 5 0

新入会者数：423 名、退会者数：573 名（逝去者、会費未納除籍者含む）

令和 1 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。